

第15回 東日本大震災子ども支援ネットワーク運営委員会報告

日時：4月19日（木）9時30分～12時00分

場所：東洋大学2号館6階B会議室

参加者：日本ユニセフ協会(2名) チャイルドライン(1名) 事務局(2名)

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(1名) 子どもの権利総合研究所(1名)

議題

1. 東日本大震災子ども支援ネットワークの1年目のまとめ

過去3回にわたり子ども支援意見交換会やシンポジウムを通じて、子どもの権利に基づいた良い情報・意見交換、または議論を積み重ねてくることができた。2年目を迎える今一度、今後のNWのあり方について考える。

2. 2年以降の会の運営について

発足後、子どもの権利を前提にしたアドボカシー活動を前提に、子ども達の声をどのように施策に反映させるのかを考え、子どもの権利条約に基づく復興支援について政府や各省庁官僚、自治体や支援者に伝える役割を果たしてきた。今後もその役割を担う。

事務局長からのメッセージを書いて5月5日までにHPに掲載する。事務局からアドバイザートと参加団体に2年目の活動への参加要請をする。

3. 会計… 当面は「(株)ドンク」と「日仏女性研究学会」から受けた寄付を資金として活動していく。

報告

1. 各団体からの活動報告

(チャイルドライン)

1年間の活動を終え、運営団体を降りる。今後はNW参加団体としてサポートしていく。

(日本ユニセフ協会)

2年目にあたって運営委員の交代の報告。

(セーブ・ザ・チルドレン)

運営委員は継続。

5月5日(土・祝) 第2回 東北子どもまちづくりサミット 東京ビックサイトにて東日本大震災子ども支援ネットワークのHPに掲載。

2. 3.14.山田町子育て支援グループ交流会と子どもとおとなの意見交換会

山田町で子ども支援を展開するセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとSAVE IWATE、国際開発救援財団FIDR、山田町健康福祉課児童福祉係の係長と子育て支援担当者が来訪し、ゾンタハウスの支援者と共に、支援の現状を報告し合い、課題について共有し、解決策について議論することができた。

3. その他(各団体から、HPについて)

予算上から検討した結果、携帯用サイトを止めて、HPサイトだけ残すという形で行きたい。

4. 事務局報告

(1) 活動報告

3月8日(木)

第3回 東日本大震災子ども支援意見交換会 ―市民社会との協働の取り組み―

3月14日(水)

当 NW の呼びかけにより、山田町ゾンタハウスにて「山田町地区の子ども支援者会議」と「子どもとおとなの意見交換会」を開催。

3月17(土)・18日(日)

子どもの権利研究フォーラムで NW の資料などの配布を行い、広報活動を行う。

4月5日(木)

「生活協同組合研究」2012年4月号 Vol.435

「東日本大震災における子ども支援 ― 東日本大震災子ども支援ネットワークと山田町ゾンタハウスでの取り組みを手掛かりにして―」で森田事務局長が執筆。東日本大震災子ども支援ネットワークHPに掲載。

(2) これまでの問い合わせと対応について

3月6日(火)

(株)ドンクより、チャリティストラップの売上げの一部を義援金とするキャンペーン「ハローキティからのメッセージ“焼きたてでつながる絆”」の収益金 762,480 円を当ネットワークに寄附して頂く。東日本大震災子ども支援ネットワークHPに掲載。

3月22日(木)

「日仏女性研究学会」様より 3月10日に実施された、国際女性デー「東日本大震災・福島原発事故一周年フォーラム―災害・記憶・未来・女性が表現する、女性がつなぐ―」におけるチャリティ展示会(日仏のアーティスト、とくに女性アーティストの協力を得て約100点)での収益金 155,850 円を寄附して頂く。東日本大震災子ども支援ネットワークHPに掲載。

日付	NWに問い合わせがあった個人・団体	お問い合わせ内容	検討事項
2月25日(土)	被災地支援団体より	当NWと活動を共にさせて頂きたい。どんな支援を行っているのかを教えてください。	事務局から返信済み
4月18日(水)	個人	被災地の子ども達に元気になってもらいたい。そのために現地の子ども達が今何をして遊んでいるかを知りたい。	→子どもの権利総合研究所へ

※次回以降の運営委員会

日時：5月31日(木)10:00～11:30

6月21日(木)10:00～13:00 第4回 子ども支援意見交換会を予定

7月20日(金)10:00～11:30

場所：東洋大学2号館6階B会議室

※次回の国会意見交換会：6月21日(木)11時～13時 福島の放射能問題を抱える子どもへの支援